

銀座街づくり会議

銀座デザイン協議会・銀座駐車場協議会

〒104-0061 中央区銀座4-6-1 銀座三和ビル3F

Tel: 03.3567.1535 / Fax: 03.3563.0236 / E-mail: info@ginza-machidukuri.jp

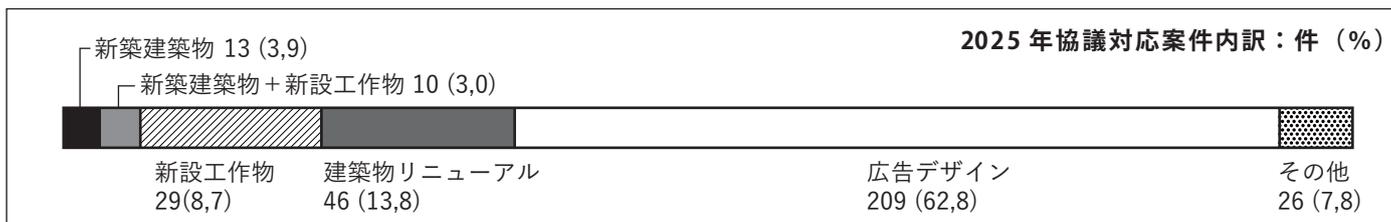
2025年 | 銀座街づくり会議の活動報告

2004年に発足した銀座街づくり会議。21年目の活動をご報告いたします。

2022年から、3年間にわたり考え続けてきた新しい銀座のヴィジョンを、「銀座 VISION2040」として5月に発表しました。銀座の人たちのヒアリングやインタビューから集めた言葉は、刺激的で斬新なものというよりは、これからもずっと歩いて楽しい街でありたいというシンプルなヴィジョン。これからの15年、銀座の人たちの心にしみこみ、いつも同じ空間像を持ちながら街の発展が続いていくことを願っています。道路も建物も、通りを構成する一つ一つのものごとが、歩く人に寄り添った2040年の風景を目指して、2026年も銀座街づくりを続けていきます。

▶ 銀座デザイン協議会

2025年の協議件数は、新築建築物23件、新設工作物29件、建築物リニューアル46件、広告デザイン209件、その他相談等26件で、合計333件でした。2006年の銀座デザイン協議会発足以降の累計は、4,337件を数えます。



この数年、通りに向けたデジタルサイネージ設置相談の対応に苦慮しています。通りの歩行者に対する情報発信として機能する一方で、眩しさや過度な動き、そして平面的な設えは、銀座が目指す落ち着いた街並みとは逆行します。また、グローバル企業による世界共通の映像放映が街の均質化につながることも望ましくありません。屋内設置の場合は行政の許可が必要ないことなどから、地元が把握する機会のないまま設置され、通りの風景を変えてしまうことも問題です。

銀座デザイン協議会では、事業者との丁寧な協議に重きを置き、明確な数値基準を持たないことを方針としています。事業者からの強い要望と度重なるご相談を受け、デジタルサイネージについては固定的なルールを設けるべきではないかと議論になりました。

銀座らしい街並みの緩やかな変化を支えてきたのは、数値基準ではなく、良いものは良いという柔軟な判断です。デジタルサイネージにも、ルールを設けたり禁止するのではなく、良い形での共存を目指したいという考えを強く持っています。そこで現時点では、通りに直接に向けた位置に設置することや情報の垂れ流しはNGとし、店内やショーウィンドウの空間演出としての活用に切り替えていただく方向で事業者と協議しつつ、銀座らしいあり方を模索しています。

▶ 銀座駐車場協議会

新築・既存建築物の駐車場「銀座ルール」の協議対応に加えて、「特定路線（規模に関わらず駐車場設置が免除される通り）」の検討を進めています。個性的な店舗の連続性は銀座の魅力の一つですが、駐車場施設によってその連なりが途切れてしまうことが以前から問題になっていました。その対応として、2023年に改正された駐車場「銀座ルール」では、一般車に加えて荷捌き車両と身障者用も隔地できるようになり、小規模の建物は駐車場施設を持たなくて良いことになりました。今後さらに、「特定路線制度」を使って、ある程度規模の大きな建物も駐車場施設が免除されることを目指すのかどうか、導入の必要性を検討していきます。

商業の街を支える納品車や来街者の車両など、検討事項は山積しています。銀座全体の交通状況や各通りの個性と機能を丁寧に分析し、歩行者を優先するという「銀座 VISION2040」と照らし合わせながら、銀座らしい選択を探ります。

2026年は調査データをもとに議論を深め、シンポジウム等で進捗や方向性を皆様と共有しながら進めてまいります。